

第2章 逗子市の高齢者の現況と将来見込み

1 現況

1 - 1 高齢者を取り巻く環境

(1) 高齢者人口、第1号被保険者

人口の推移

本市の総人口は、平成20年10月1日現在で60,555人、65歳以上人口（以下、高齢者人口）は16,016人であり、その総人口に占める割合（以下、高齢化率）は26.45%となっています。総人口は平成16年より増加傾向にあります。平成15年に比べて総人口で0.5%増、高齢者人口で14.0%増と、高齢者人口の増加率が際立っています。

第3期計画との差異を見ると、総人口、40～64歳人口、高齢者人口とも実績が計画を上回りました。総人口の伸びが大きかったこと、高齢者人口の中でも75歳以上人口の伸びが大きかったことがあげられます。

逗子市人口の推移

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総人口(人)	60,255	60,141	60,203	60,300	60,494	60,555
対前年増減数		-114	62	97	194	61
40～64歳人口(人)	20,939	20,976	20,985	20,770	20,837	20,811
高齢者人口	14,044	14,364	14,685	15,117	15,524	16,016
65～74歳人口(人)	7,909	7,890	7,913	8,080	8,215	8,370
75歳以上人口(人)	6,134	6,473	6,772	7,037	7,309	7,646
高齢化率(%)	23.31%	23.88%	24.39%	25.07%	25.66%	26.45%

上記は住民基本台帳人口に外国人登録人口を含めた値（10月1日現在）

(参考) 第3期計画と実績との差異

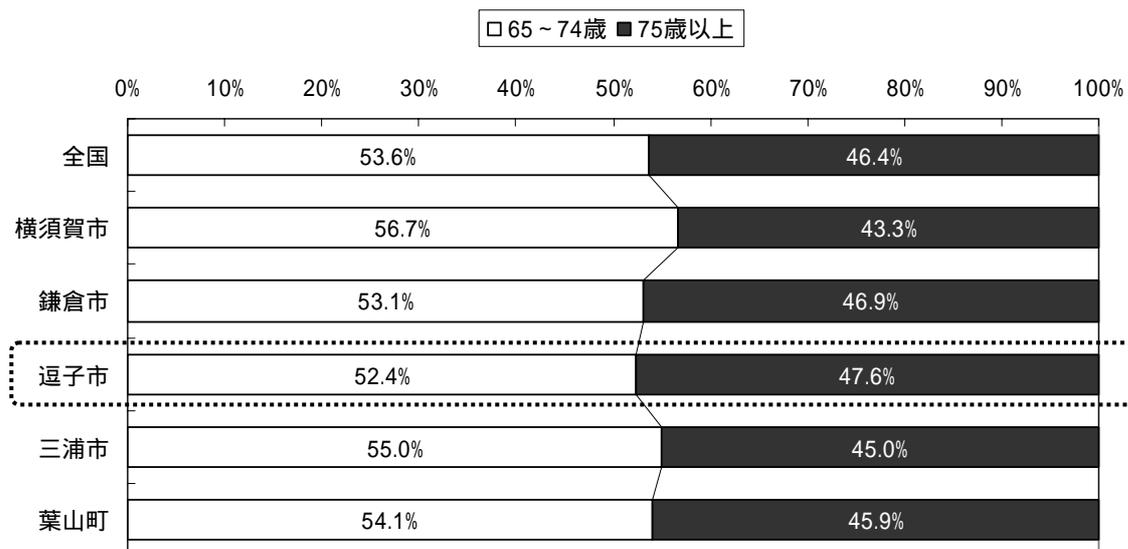
区分	時点	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
総人口	計画 A	59,595	59,297	58,966
	実績 B	60,300	60,494	60,555
	差異 (B-A)	705	1,197	1,589
40～64 歳人口(人)	計画 A	20,475	20,240	20,110
	実績 B	20,770	20,837	20,811
	差異 (B-A)	295	597	701
高齢者人口	計画 A	15,029	15,406	15,740
	実績 B	15,117	15,524	16,016
	差異 (B-A)	88	118	276
65～74 歳人口(人)	計画 A	8,108	8,231	8,315
	実績 B	8,080	8,215	8,370
	差異 (B-A)	-28	-16	55
75 歳以上人口(人)	計画 A	6,921	7,175	7,425
	実績 B	7,037	7,309	7,646
	差異 (B-A)	116	134	221

第1号被保険者の状況

平成20年9月末現在、逗子市の第1号被保険者数は16,098人となっております。

また、平成20年2月末現在の第1号被保険者の年齢構成で比較すると、75歳以上の後期高齢者の割合が横須賀・三浦圏域の中で最も高くなっています。

第1号被保険者の年齢別(75歳区切り)構成



介護保険事業状況報告(平成20年2月分) 認定者は2月末時点

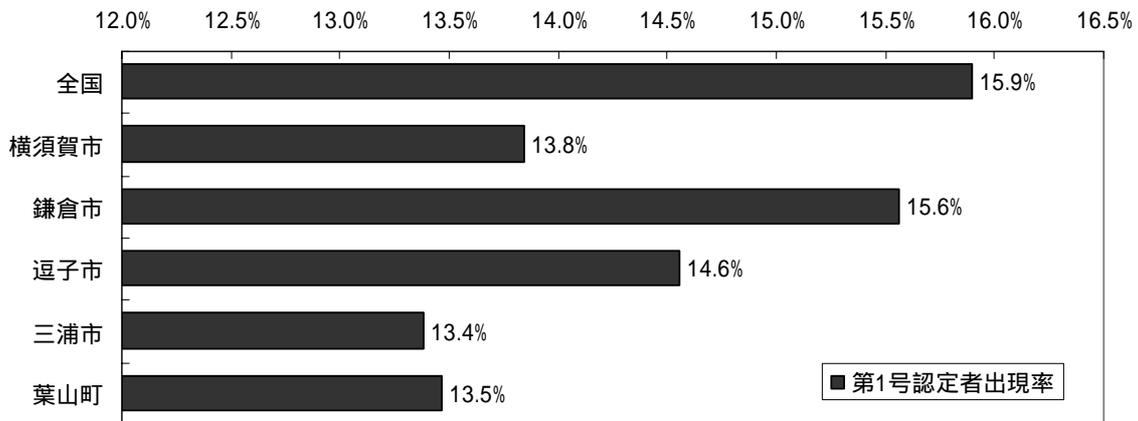
(2) 要支援・要介護認定者の状況

認定状況

本市の要支援・要介護認定者数は、平成20年10月1日で2,466人と増加を続けていますが、増加人数は近年やや少なくなってきました。

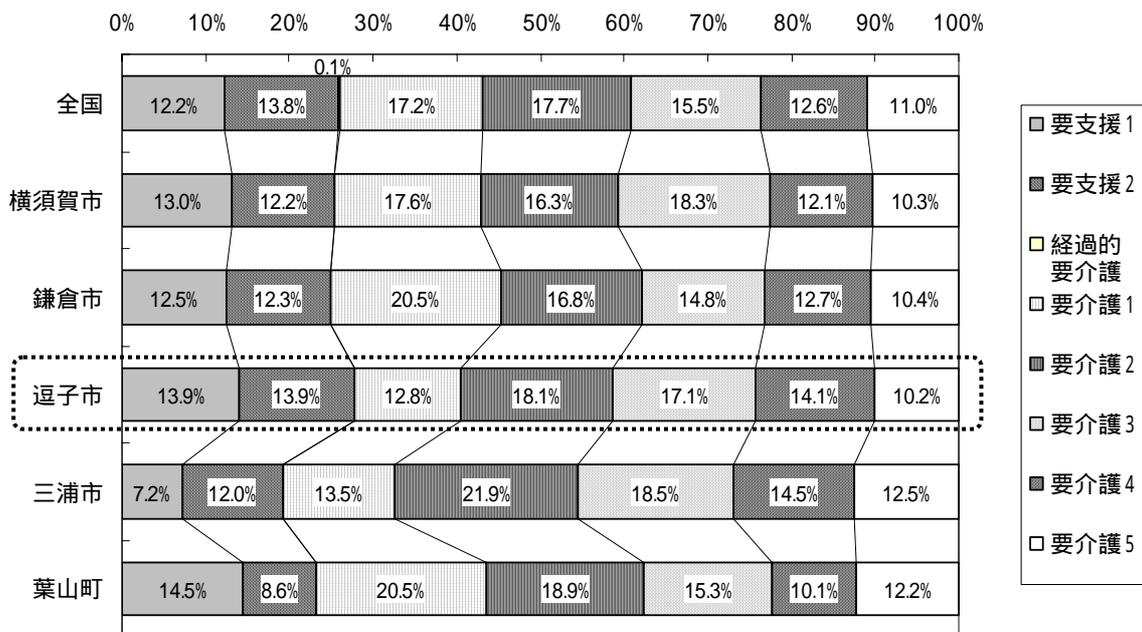
平成20年2月末現在の第1号被保険者数に占める認定者の割合を比較すると、全国に比べると低いものの、横須賀・三浦地区の中では鎌倉市に次いで多くなっています。また、介護度別構成割合では、横須賀・三浦地区の中で、要支援1・2の割合が最も多く、また、要介護4と要介護5の重度者の割合は三浦市に次いで多くなっています。

第1号被保険者に占める認定者の割合



介護保険事業状況報告（平成20年2月分） 認定者は2月末時点

認定者の介護度別構成割合



介護保険事業状況報告（平成20年2月分） 認定者は2月末時点

逗子市要支援・要介護認定者数の推移

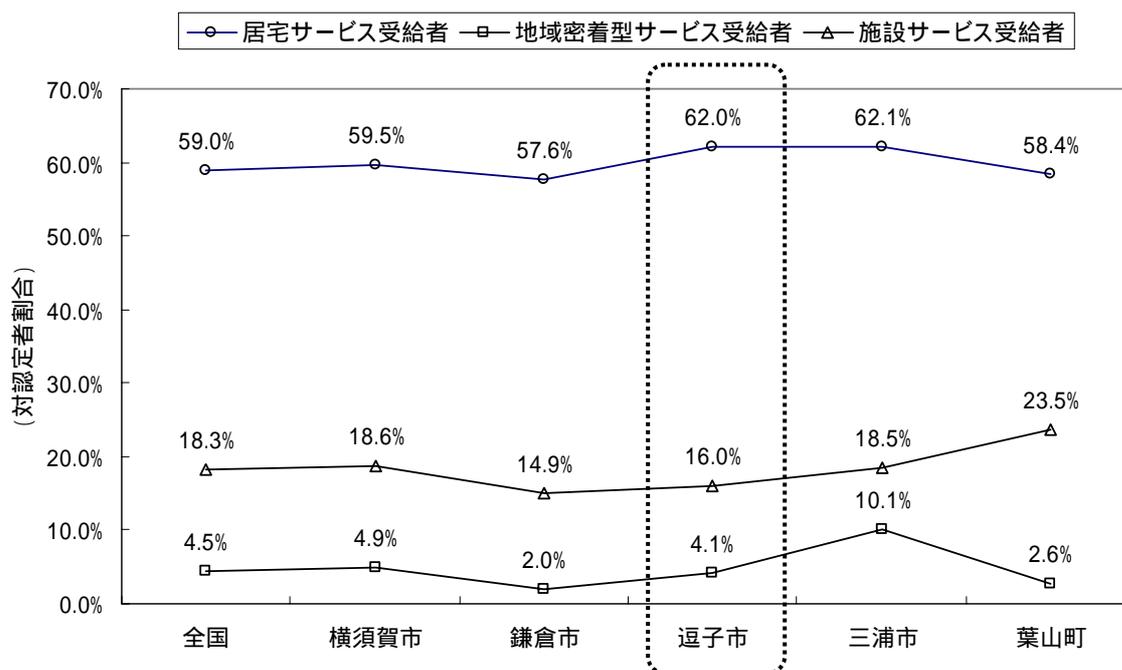
区 分		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
要介護等認定者計(人)		1,954	2,201	2,315	2,346	2,364	2,466
対前年増減数			247	114	31	18	102
介護度別	要支援	292	381	399			
	要支援1				209	332	345
	要支援2				195	337	349
	経過的要介護						
	要介護1	555	647	680	684	303	322
	要介護2	329	341	358	375	446	429
	要介護3	313	327	346	356	379	414
	要介護4	245	270	284	294	329	349
要介護5	220	235	248	233	238	258	

介護保険事業状況報告（各年 10 月 1 日現在）

サービスの受給状況

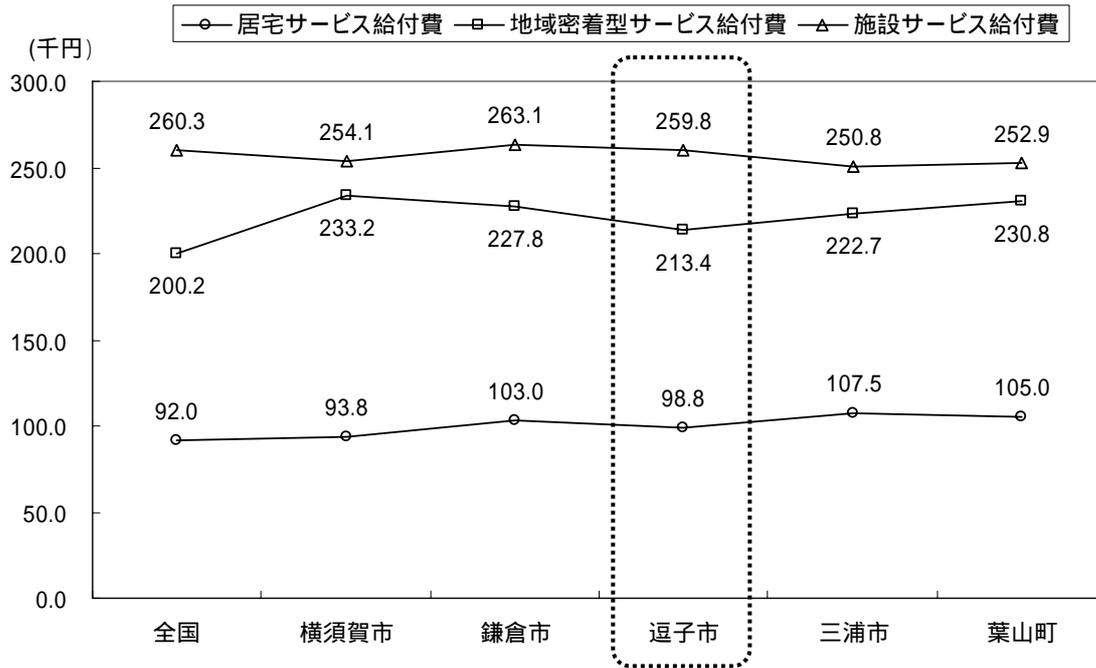
平成 20 年 3 月利用におけるサービス受給者割合を比較すると、居宅サービス受給者が 62%、地域密着型サービス受給者が 4.1%、施設サービス受給者が 16.0%となっており、横須賀・三浦圏域の中で居宅サービス受給者割合が多くなっています。また、サービス種別の受給者一人当たり給付費の比較で、居宅サービスの受給者一人当たり給付費は、横須賀市に次いで 2 番目に少なくなっています。

認定者に占めるサービス種別受給者割合



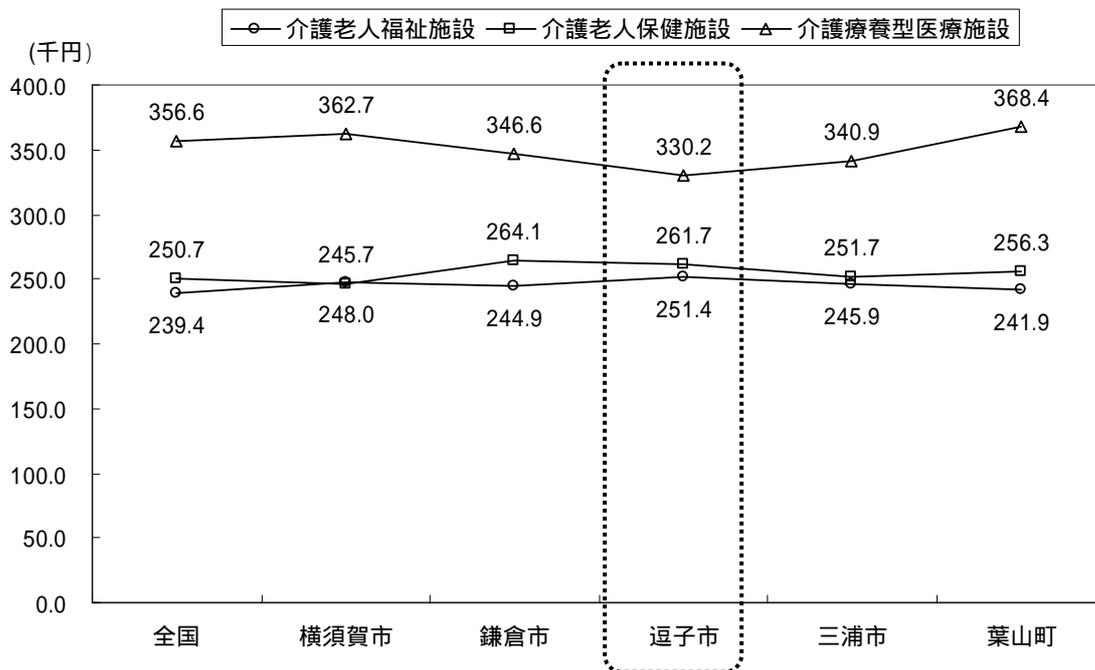
介護保険事業状況報告（平成 20 年 5 月分） 認定者は 2 月末時点、受給状況は 3 月利用分の実績

サービス種別に見た受給者一人あたり給付費



介護保険事業状況報告（平成 20 年 5 月分） 受給状況は 3 月利用分の実績

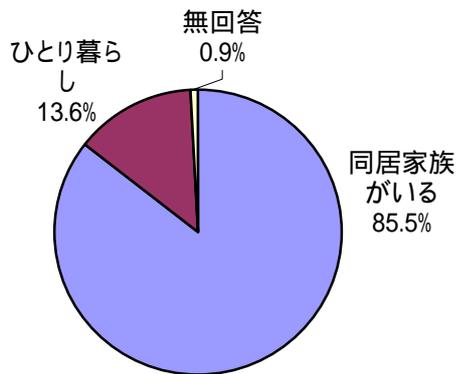
施設サービス種別に見た受給者一人あたり給付費



介護保険事業状況報告（平成 20 年 5 月分） 受給状況は 3 月利用分の実績

1 - 2 高齢者の生活

同居状況

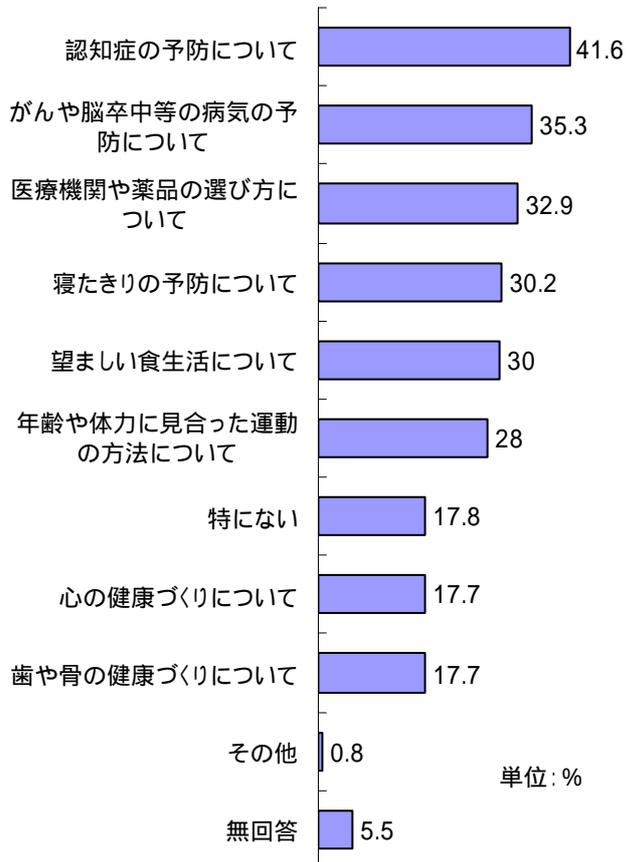


一般高齢者調査結果（平成 19 年実施）

一般高齢者調査によれば、同居状況について、「ひとり暮らし」が 13.6%となっています。

安心・安全な暮らしを考える上で、地域の中でさまざまな支え合いや見守り体制が必要と考えられます。

健康について知りたいこと

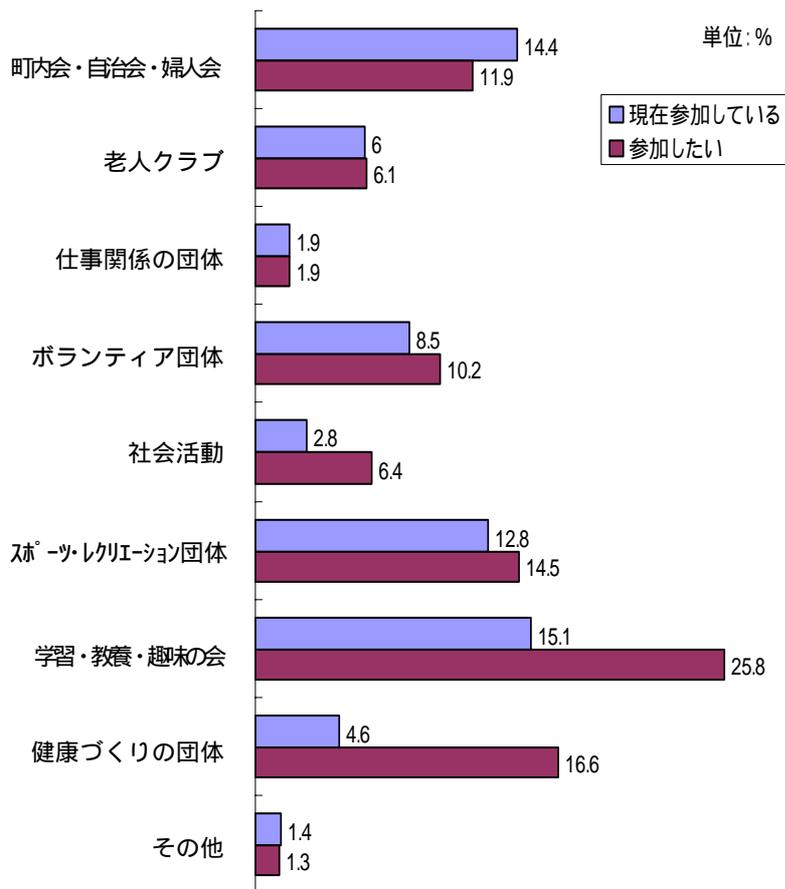


一般高齢者調査結果（平成 19 年実施）

一般高齢者調査によれば、健康について知りたいこととして、「認知症の予防について」、「がんや脳卒中等の病気の予防について」、「医療機関や薬品の選び方について」の順に回答が多くなっています。

高齢期の健康づくりを考える上で、各種予防の理解促進・情報提供が必要と考えられます。

団体活動への参加の現状と意向

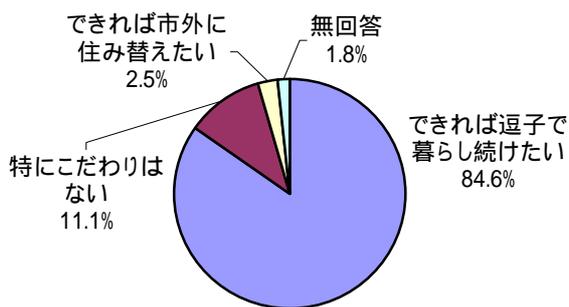


一般高齢者調査によれば、団体活動への参加の現状と意向として、「学習・教養・趣味の会」と「健康づくりの団体」の参加意向が現状の割合に比べて非常に高くなっています。

高齢期の健康づくり、生きがいづくりを考える上で、地域のさまざまな活動に気軽に参加できるように、相談支援や活動情報の提供が必要と考えられます。

一般高齢者調査結果（平成 19 年実施）

定住意向

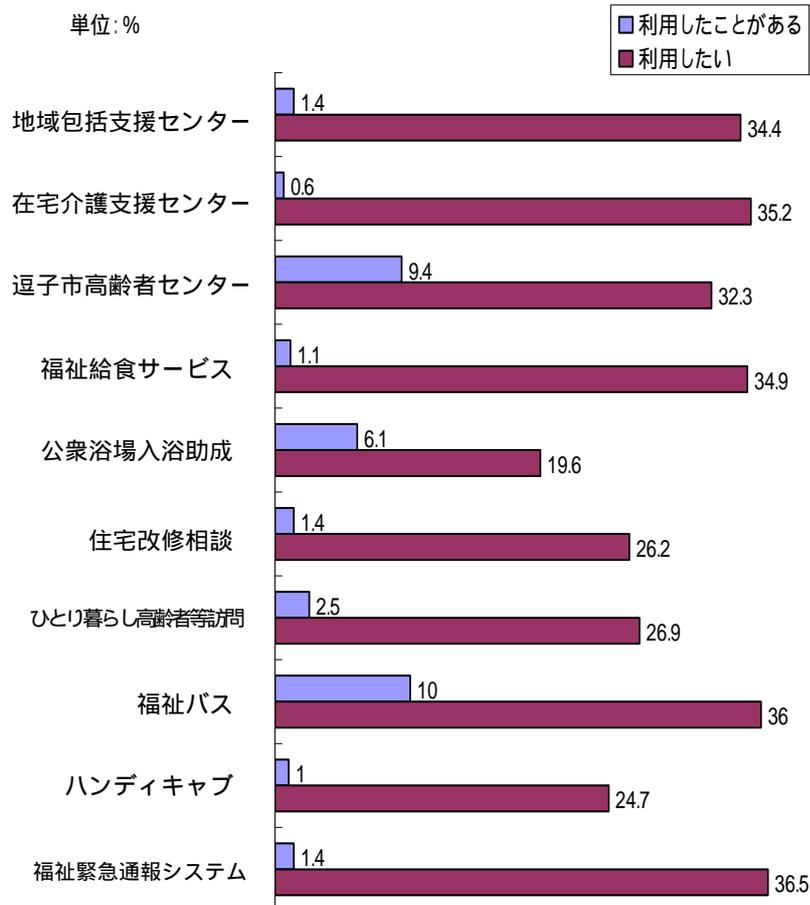


一般高齢者調査結果（平成 19 年実施）

一般高齢者調査によれば、逗子市で暮らし続けたいと考えている人は約 85% となっています。

身近な地域で安心して暮らしていくためには、地域での支え合い、相談支援、生活支援や住まいの確保等が必要と考えられます。

高齢者福祉サービスの利用経験と利用希望

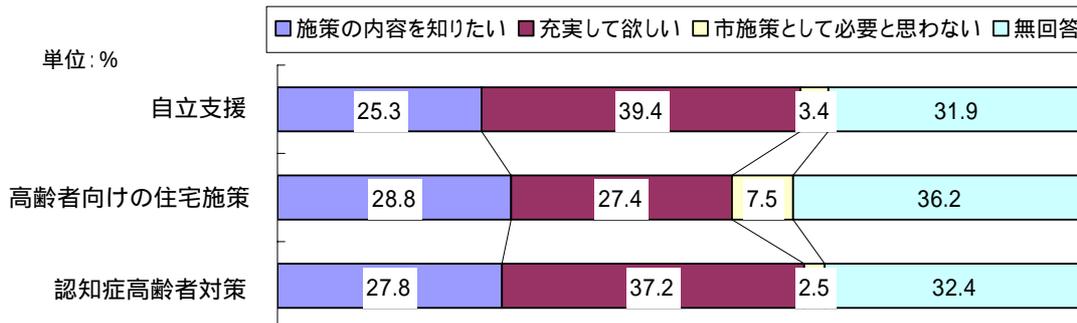
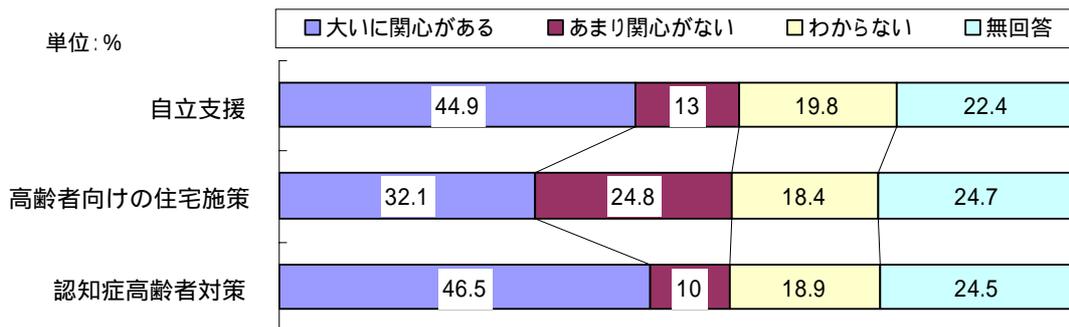


一般高齢者調査によれば、高齢者福祉サービスの利用経験は逗子市高齢者センターと福祉バスが約1割と低調です。一方で利用希望はいずれも高く、中でも福祉緊急通報システムが最も多くなっています。

身近な地域で安心して暮らしていくためには、相談支援や生活支援、緊急時対応、移動手段等、生活全般を支えるしくみづくりが必要と考えられます。

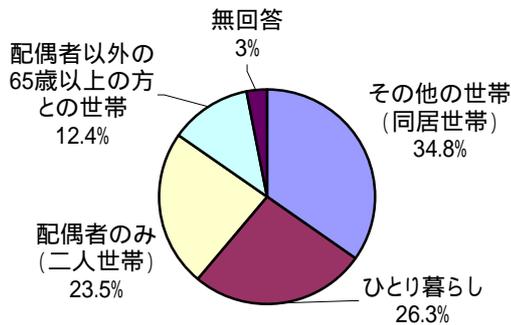
一般高齢者調査結果（平成19年実施）

自立支援施策への関心



1 - 3 高齢者の介護

家族構成（認定者調査）

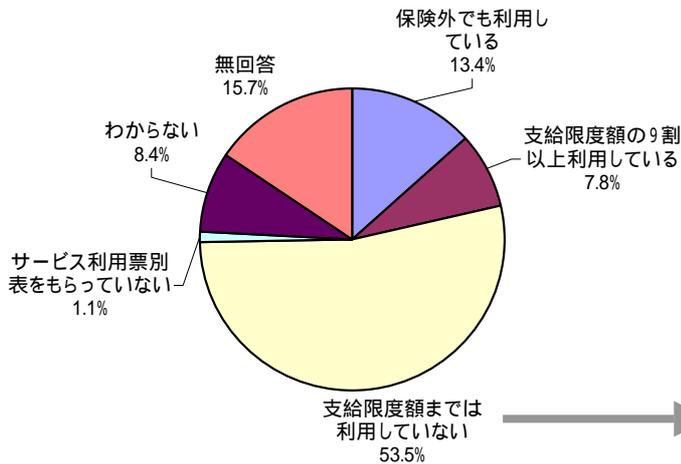


要支援・要介護認定者調査結果（平成19年実施）

要支援・要介護認定者調査によれば、家族構成は「ひとり暮らし」と「配偶者のみ」を合わせると約5割となります。一般高齢者調査における「ひとり暮らし」は約14%となっており、認定者の独居割合は高いと言えます。

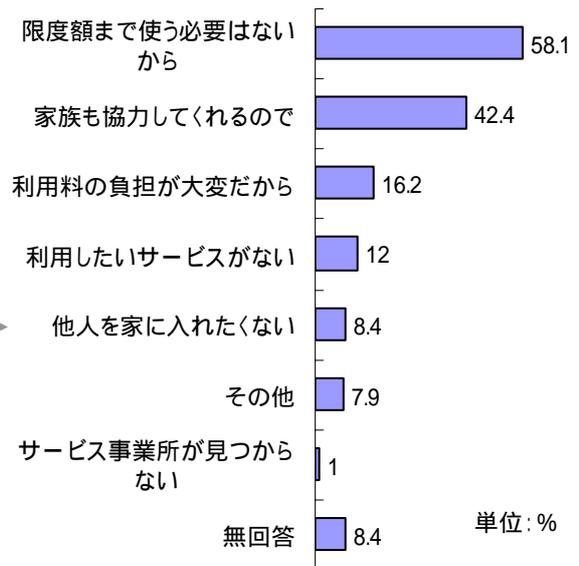
安心・安全な暮らしを考える上で、地域の中でさまざまな支え合いや見守り体制が必要と考えられます。

支給限度額に対する利用の程度（認定者調査）



要支援・要介護認定者調査結果（平成19年実施）

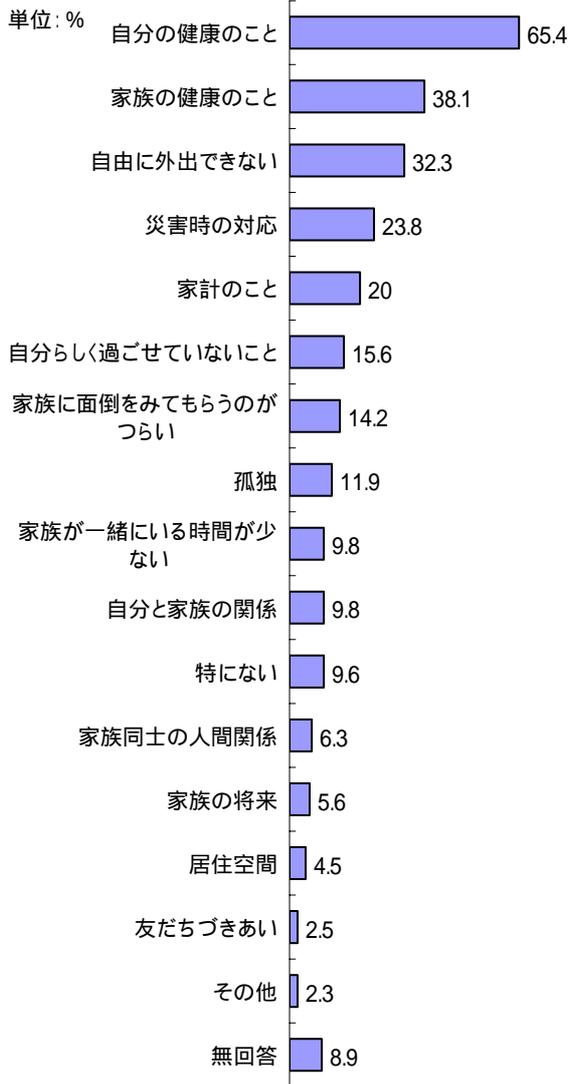
限度額まで利用していない理由



要支援・要介護認定者調査によれば、5割以上の方が「支給限度額までは利用していない」と回答しています。その理由としては「限度額まで使う必要はないから」、「家族も協力してくれるので」といった回答が多くなっています。一方で、利用料負担が大変とか、利用したいサービスがない、他人を家に入れたくないといった回答も見られます。

身近な地域で自立した生活を続けていけるよう、介護保険サービス、介護保険外サービスも含めて、必要なサービスが利用できるような環境づくりが必要と考えられます。

心配なこと・困っていること（認定者調査）

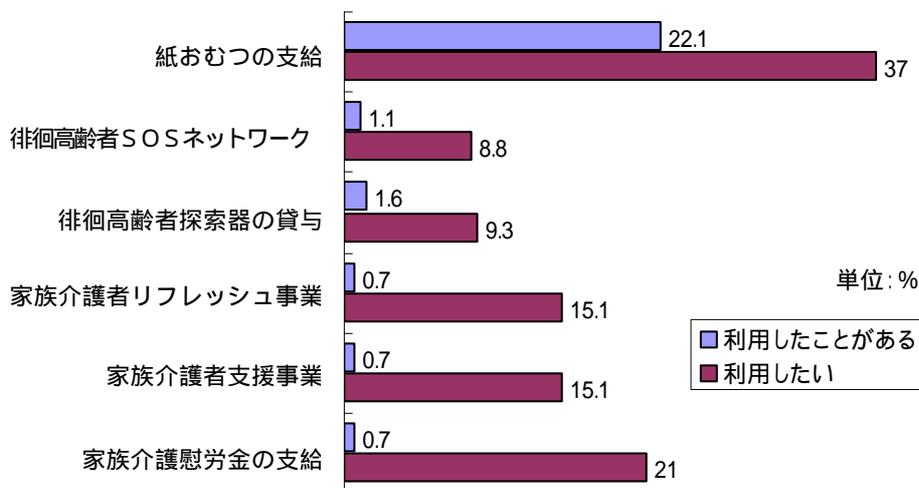


要支援・要介護認定者調査によれば、心配なこと・困っていることとして、自分や家族の健康や自由に外出できないこと、災害時の対応の順で回答が多くあげられました。

安心・安全な暮らしを考える上で、健康に関する相談支援体制、移動手段の確保、災害時の支援体制が必要と考えられます。

要支援・要介護認定者調査結果（平成 19 年実施）

介護者支援サービスの利用経験と利用希望（介護者調査）



介護者調査によれば、介護者支援サービスとして、紙おむつの支給以外の利用経験は少ないですが、利用希望はいずれも高くなっています。

在宅介護を継続していく上で、介護者への支援体制が必要と考えられます。

介護者調査結果（平成 19 年実施）

2 逗子市の将来フレーム

2 - 1 平成 26 年度までの見込み

(1) 高齢者人口

本市の総人口は、ここ最近の人口増の影響で、平成 23 年の 60,674 人まで膨らみ、その後は減少に転じて、平成 26 年には 60,530 人になると推計しています。

うち 65 歳以上人口は増加を続け、平成 23 年には 16,406 人（高齢化率が約 27%）、平成 26 年には 17,466 人（高齢化率が 29%）と推計しています。

人口の将来推計

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
総人口(人)	60,631	60,661	60,674	60,643	60,604	60,530
対前年増減数		30	13	-31	-39	-74
40～64 歳人口(人)	20,866	21,092	21,460	21,448	21,369	21,394
高齢者人口	16,224	16,354	16,406	16,778	17,210	17,466
65～74 歳人口(人)	8,419	8,318	8,132	8,287	8,618	8,803
75 歳以上人口(人)	7,805	8,036	8,274	8,491	8,592	8,663
高齢化率(%)	26.76%	26.96%	27.04%	27.67%	28.40%	28.86%

住民記録台帳人口及び外国人登録者数をもとにコーホート変化率法を用いて推計した値（各年 10 月 1 日現在）

(2) 要支援・要介護認定者数

本市の要支援・要介護認定者数は、毎年増加を続け、平成21年に2,523人、平成26年には3,000人に近づくと見込まれます。

要支援・要介護認定者の将来推計

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
要介護等認定者計(人)		2,523	2,616	2,717	2,807	2,886	2,963
対前年増減数			93	101	90	79	77
総合計	要支援1	355	366	377	388	397	404
	要支援2	349	359	373	384	393	403
	要介護1	318	331	343	354	362	373
	要介護2	439	457	474	492	508	522
	要介護3	433	452	471	487	503	518
	要介護4	363	377	393	406	419	431
	要介護5	266	274	286	296	304	312
第1号被保険者 (65歳以上)	要支援1	351	362	373	384	393	400
	要支援2	334	344	358	369	378	388
	要介護1	311	324	336	347	355	366
	要介護2	435	453	470	488	504	518
	要介護3	418	436	454	470	486	501
	要介護4	357	371	387	400	413	425
	要介護5	258	266	278	288	296	304

(参考)平成21年を100とした場合の伸び

総合計	要支援1	100	103	106	109	112	114
	要支援2	100	103	107	110	113	115
	要介護1	100	104	108	111	114	117
	要介護2	100	104	108	112	116	119
	要介護3	100	104	109	112	116	120
	要介護4	100	104	108	112	115	119
	要介護5	100	103	108	111	114	117

2 - 2 計画目標

(1) 第4期計画期間中の施設等の整備方針

第4期計画期間中の新規・増設等の見込み

区分	施設種別	第4期計画期間中の新規・増設等の見込み
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	利用者のニーズが最も高い施設である。 100床の新設を目指す。
	介護老人保健施設	80床の新設を目指す。
	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	事業者参入も望めないことから、広域型以外の新たな 利用は見込まない。
入居施設	認知症対応型共同生活介護	3ユニット(定員27人)の新設を目指す。
	特定施設入居者生活介護	100床の新設を目指す。

(市内の施設等の現況)

区分	施設種別	施設数	定員
入所施設	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	2箇所	168人
	介護老人保健施設	2箇所	175人
入居施設	認知症対応型共同生活介護	4箇所	53人
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1箇所	23人

(2) 入所・入居施設利用の目標

介護保険3施設では療養病床の転換を、また、居住系サービスでは今後の居住系サービスのニーズを加味して、将来の施設・居住系サービスの利用者を見込みました。住み慣れた地域での生活を継続できるよう、在宅と施設のバランスのあるサービス提供を目指します。

入所施設利用の将来展望(利用者数は各年度10月1日時点、施設定員数は年度末時点)

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者		398	398	556	539	539	539
介護老人福祉施設	利用者数	208	208	298	298	298	298
	市内施設定員数	168	268	268	268	268	268
介護老人保健施設	利用者数	171	241	241	241	241	241
	市内施設定員数	181	261	261	261	261	261
介護療養型医療施設	利用者数	19	19	17	-	-	-
	市内施設定員数	0	0	0	-	-	-

入居施設利用の将来展望（利用者数は各年度10月1日時点、定員数は年度末時点）

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
居住系サービス利用者		102	114	126	126	126	126
認知症対応型 共同生活介護	利用者数	79	91	103	103	103	103
	市内定員数	62	80	80	80	80	80
特定施設入居 者生活介護(介 護専用型)	利用者数	-	-	-	-	-	-
	市内定員数	-	-	-	-	-	-
地域密着型特 定施設入居者 生活介護	利用者数	23	23	23	23	23	23
	市内定員数	23	23	23	23	23	23

要介護2～5に占める入所・入居施設利用者の割合

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者	398	398	556	539	539	539
居住系サービス利用者	102	114	126	126	126	126
施設・居住系サービス利用者計(A)	500	512	682	665	665	665
施設・居住系サービス利用者の割合 (=A/B)	33.3%	32.8%	42.0%	39.6%	38.4%	37.3%

要介護2～5の認定者(B)	1,501	1,560	1,624	1,681	1,734	1,783
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(3) 介護保険3施設を利用する重度者への重点化の目標

施設利用者に占める要支援・要介護4・5の割合は、療養病床の転換、介護老人福祉施設の利用者の重度化を加味して、将来の施設サービスの要介護4・5の人数を見込みました。運営基準に沿った入所基準に従って施設利用を進めるとともに、在宅生活へのサポート体制も整備していきます。

入所・入居施設利用者に占める重度者割合

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険3施設利用者(A)	398	398	556	539	539	539
内、要介護4・5の人数(B)	250	251	349	337	337	337
施設利用者に占める要介護4・5の割合 (=B/A)	62.8%	63.1%	62.8%	62.5%	62.5%	62.5%